

平成 17 年 度

# 小平市立図書館事業計画

小平市立図書館

# 平成17年度 小平市立図書館事業計画

## はじめに

図書館を巡る近年の動向としては、平成12年12月に文部省地域電子図書館構想検討協力会議によって「2005年の図書館像―地域電子図書館の実現に向けて―」が提言され、平成13年7月には文部科学省によって「公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準」が示され、同年12月には「子どもの読書活動に関する法律」が成立しています。また、平成16年3月には中央教育審議会生涯学習分科会から「今後の生涯学習の振興方策について」が報告され、平成17年2月の「IT政策パッケージ2005」には「住民に身近な地域の情報拠点として、医療・法律・ビジネスに関する情報提供等の多様な図書館サービスの促進を図るため、2005年度中に今後の図書館の在り方についての検討を行うとともに、引き続き図書館司書の能力の向上を図る。」とされています。

高度情報化・国際化・高齢化の時代を迎え、利用者のニーズが多様化している現在、小平市立図書館としても時代の変化に対応した図書館サービスを実施することが必要です。

小平市立図書館は、以上のような動向を踏まえながら、次のとおり平成17年度の事業計画を定めます。

## 1 目 標

「利用しやすい図書館」「親しみやすい図書館」を目指して次の目標を掲げ、多様化する市民ニーズに応えていきます。

- (1) 図書館がより豊かで質の高いサービスを提供できるよう情報技術の積極的な活用を図っていきます。とりわけ、地域の情報拠点として大きな役割を果たすために、インターネットを活用したシステムの整備を行います。
- (2) 図書館の活性化と地域コミュニティ活動の推進を図るため、世代を超えた交流の場を目指した図書館ボランティア組織を立ち上げます。
- (3) 利用者の利便性の向上を図るため、祝日開館を本格実施いたします。
- (4) 「小平市子ども読書活動推進計画」に基づき、小・中学校との連携を深めていきます。
- (5) 花小金井駅北口都市基盤整備事業に伴う東部市民センター（花小金井図書館）移転の準備に努めます。（平成18年5月オープン予定）
- (6) 昭和50年5月に最初の市立図書館として仲町図書館が開館して、今年で30年を迎えるため、30周年記念事業を実施します。
- (7) 21世紀社会教育活性化プラン（文部科学省受託事業）を推進します。

## 2 事業計画

目標に掲げた事項を効率的に推進するため、最小の経費で最大の効果を挙げられるよう、次の具体的な事業を実施する。

- (1) 図書館協議会の開催  
図書館協議会（年6回開催）の意見を反映して、図書館サービスの向上を図る。
- (2) 図書館オンラインシステムによる図書館情報の管理運用  
利用者数及び図書資料数の増加に対応したスムーズな事務処理を維持するため、図書館オンラインシステムによる利用者情報、資料情報の管理及び運用に努める。
  - ① 図書館オンラインシステム及びインターネット対応の整備
  - ② 書誌データの整備
  - ③ 地域資料の電子化の推進
- (3) 広域利用の推進  
図書資料に対する利用要求の多角化・即応化に 대응していくため、都立図書館、多摩六都（小平市、東村山市、東久留米市、清瀬市、西東京市）をはじめ公立図書館との相互協力による利用サービスを推進する。
  - ① 都立図書館及び多摩地区公立図書館との相互貸借の推進
  - ② 都立図書館とのインターネットによる図書資料情報ネットワークの推進
  - ③ 多摩六都の公立図書館との相互協力による利用サービス及び連携の推進
- (4) 図書資料等の収集・整理・保存・貸出  
市民の生涯学習の多様化、高度化する資料要求に応えるため、より新鮮で魅力のある資料のそろっている図書館となるよう、各館の収集分担により新刊図書等の収集に努める。
- (5) 視聴覚資料の収集・整理・保存・貸出  
中央図書館での館内視聴と視聴覚資料の貸出をする。
  - ① 録音資料（朗読カセットテープ）
  - ② 映像資料（ビデオテープ、DVD）
  - ③ 音楽資料（コンパクトディスク、カセットテープ）
- (6) 地域資料等の収集・整理・保存及びデジタル化  
市民の郷土理解を深めるため、地域に関する資料及び古文書の収集、整理、記録及び保存に努める。また、ホームページの地域資料のデジタル化をより推進する。
  - ① 地域（郷土）資料（タウン紙・誌を含む）
  - ② 行政資料（国・東京都・市刊行物等）
  - ③ 小平市及び図書館の関係新聞記事の切り抜き、整理、複写、製本、索引作成
  - ④ 郷土写真（写真資料のデジタル化、市内定点撮影、古写真の整理・保存）
  - ⑤ 市報及び市内関係リーフレット、パンフレット、ポスター等
  - ⑥ 特別文庫の整理
  - ⑦ 古文書
    - ・ 古文書の寄託受入、整理、保存
    - ・ 「小平市史料集第18・19集」の発行
    - ・ 東京都指定文化財「小川家文書」の補修
  - ⑧ こどもきょうどしりょうのデジタル化
  - ⑨ 地域情報リンク集の充実

(7) レファレンス業務

利用者の資料相談に対応するため、各種辞典、辞書、目録、索引、年鑑、統計書、法規類集及び文献等の参考図書を整備し、レファレンス業務の充実を図る。

- ① レファレンス資料の再整理及びデータベースの充実
- ② 小・中学校の総合学習や調べ学習の支援
- ③ 行政情報サービス及び調査支援の検討
- ④ 商業用データベースの活用

(8) 講座等の開催

- ① ボランティア講座
- ② 児童文学講座
- ③ 昔話講座
- ④ おはなし学習会

(9) 展示会等の開催

- ① 図書資料展示会
- ② 障害者対象図書資料展示会（小川西町図書館）
- ③ 全国地方新聞元旦号展（中央図書館、大沼図書館）

(10) 児童サービス

- ① 子ども読書活動の推進に関する啓発事業等の実施
- ② 「小平市子ども読書活動推進計画」の推進
- ③ おはなし会（全館・定例）
- ④ 絵本のへや（全館・定例）
- ⑤ 学校課題図書及び夏休み図書館推薦図書の別置
- ⑥ 乳幼児に対する推薦図書リストの配布及び読み聞かせの実践
- ⑦ 児童書の分類作業促進及び蔵書管理の検討
- ⑧ 子ども文庫への図書団体貸出

(11) 小・中学校との連携

学校が進める総合的な学習の側面的支援を行う。

- ① 図書館見学・図書団体貸出・読み聞かせ学習指導の支援
- ② 学校図書館との連携の強化
- ③ 職場体験学習の受け入れ
- ④ 学校図書のデータベース化

(12) 障害者・高齢者サービス

大型活字本、拡大写本、点字図書の購入、布の絵本（さわる絵本）の作成、貸出及びPRを推進する。

- ① 対面朗読
- ② 録音図書（カセットテープ等）の作成及び貸出
- ③ 在宅障害者への図書資料の郵便等による送付サービスの実施
- ④ 障害者宅配サービスの研究
- ⑤ 福祉講演会（小川西町図書館）
- ⑥ 障害をもった児童・生徒に対する読み聞かせの実施
- ⑦ 点字図書目録（点字版）及び点訳絵本の作成

(13) 遠距離通勤者サービス

開館時間内の来館が困難な遠距離通勤者に本の受け取りの便宜を図るため、公民館での夜間貸し出しができるよう準備する。

- (14) 複写サービス
  - ① 図書資料の複写サービス
  - ② 図書館集会室利用者への複写サービス
- (15) リクエストサービス
  - 利用者の求める資料、情報の提供に努める。
  - ① 所蔵図書の利用予約（貸出予約）
  - ② 未所蔵図書の購入（リクエスト購入）
  - ③ 相互利用による資料の貸借
- (16) 図書館関係団体に対する援助・連携
  - 図書館と関係の深い、子ども文庫連絡協議会、社会福祉協議会、友の会との連携を図り、利用しやすい図書館、親しみやすい図書館づくりに努める。
  - ① 補助金の交付（子ども文庫連絡協議会）
  - ② 事業活動への協力及び共催事業の開催
- (17) 図書清掃の実施
  - 返却図書等の清掃により清潔な図書を提供する。
- (18) 施設の運営管理
  - ① 各図書館・分室、東部・西部市民センターの維持管理
  - ② 集会室の維持管理・貸出（喜平図書館・上宿図書館）
  - ③ 各図書館の施設・設備改修計画の見直し
- (19) 蔵書管理
  - 図書資料の購入、寄贈図書の受入、資料の除籍・廃棄、リサイクルを計画的に進め、的確な蔵書管理を行うとともに、より新鮮な情報提供ができる蔵書管理体制を確立する。
  - ① 未返却図書の督促
  - ② 図書の整理・補修
  - ③ 図書の選書・発注・受け入れ
  - ④ 除籍図書・寄贈図書のリサイクル
  - ⑤ 蔵書管理基準の再検討
- (20) 職員研修及び施策形成参画機会の拡充
  - ① 司書資格取得講習会への派遣
  - ② 実務研修・各種研究会への参加
  - ③ 各種職場研修の実施
- (21) 実習生及び視察等の受入
  - ① 図書館実習生（大学生等）の受入
  - ② 図書館見学・職場体験学習及び視察等の受入
- (22) 広報活動
  - ① 夏休み親子1日図書館員の開催
  - ② 図書館紹介、利用案内、館カレンダー、多摩六都ガイドブック等の作成・配布
  - ③ 新刊・新着図書案内の発行
  - ④ 市報等の活用（「図書アラカルト」、行事等）
  - ⑤ 図書館標語の活用
  - ⑤ 図書館ホームページの整備・活用
- (23) 大学図書館との連携
  - 市民の利便性向上を図るため、市内大学図書館との相互利用を進める。